

スポーツナビ

GOLO

BIG

2022

No. 105

Autumn

Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス

2022 WDSFグランドスラム ジャーマンオープン

日本スポーツマスターズ2022岩手大会記念事業
ダンススポーツ競技大会

2022ダンススポーツグランプリ in 静岡・仙台



<http://www.jdsf.or.jp>



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興助成事業として、2021年度は以下の事業を実施しました。

独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成事業2021年度実施状況

●くじ助成

| 事業名 | 実施結果 | 助成金確定額 | 助成金の使途 |
|--|--|-----------|--|
| 第16回オールジャパン ジュニア・ダンススポーツ カップ2021 in 川崎 (於:とどろきアリーナ) | 新型コロナウイルス感染症拡大のため、やむなく中止した。 | 40,000 | ・背番号作成料 ・賞状筆耕料 ・その他 |
| ドーピング検査推進事業 | ブレイキン全日本選手権において実施したドーピング検査にNf.repを派遣した。 | 9,000 | ・Nf.repに対する謝金と交通費 |
| 広報誌 (Dance Dance Dance) 発行 | 春夏秋冬の4回の広報誌を遅延なく発行することができ、当連盟の運営状況や幅広い会員の活動を全国の会員等へ発信することができた。 | 6,674,000 | ・広報誌の印刷費 ・広報誌の梱包、発送 ・取材のための旅費 |
| 日本スポーツマスターズ 2021岡山大会記念事業 ダンススポーツ競技大会 | 年齢30歳以上の選手を対象に年代別5区分を実施した。 このうち、区分Ⅱ、Ⅳ、Ⅴについては、世界ダンススポーツ連盟シニア大会の日本代表選考会とした。 | 1,167,000 | ・審判員、実行委員への謝金及び交通費 ・会場借用料 ・大会プログラムの作成 ・競技用背番号 ・その他 |
| 小 計 | | 7,890,000 | |

●基金助成

| | | | |
|-------------------|---|-----------|--|
| 第3回 全日本ブレキン選手権 | WDSF公認のワールドオープン・スタンダード/ラテンとPDスーパーグランプリ・スタンダード及びU-23スタンダード/ラテンを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 | 6,000,000 | ・会場設営準備費用 ・チラシ・ポスター制作代 ・音楽CD制作代 ・メダル、トロフィー代 ・海外審判員旅費キャンセル料 |
| 小 計 | | 6,000,000 | |

●競技力向上助成

| | | | |
|----------|--|------------|---|
| 選手強化NF事業 | 詳細は、以下のサイトに掲載 https://www.jdsf.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/09/2021report.pdf | 23,789,000 | ・選手強化活動 ・コーチ力強化 ・次世代アスリート育成 ・感染症対策 ・新しい生活での選手強化活動 |
| 小 計 | | 23,789,000 | |

●全体

| | | | |
|-----|--|------------|--|
| 合 計 | | 37,679,000 | |
|-----|--|------------|--|

事務局より

寄付金総額

1,420,800円

◆ウクライナダンススポーツ活動支援のための最終寄付金額のご報告

8月31日で受付を終了しました皆様からのお預かりした寄付金は、WDSFウクライナダンススポーツ連盟へ送金いたしました。都道府県連盟の皆様、JDSF会員の皆様、あたたかいご支援、誠にありがとうございました。



ご挨拶



公益社団法人日本ダンススポーツ連盟事務局長
岸尾 政弘

2022年6月5日の理事会において、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（JDSF）事務局長を仰せつかりました岸尾政弘です。よろしくお願い申し上げます。

2020年6月中頃からの新型コロナウイルス感染症第2波の拡大により、公認競技会の開催も軒並み中止せざるを得なくなるなど財務状況の先が見通せなくなったため、2021年2月にJDSF事務所を江東区有明から中央区日本橋小伝馬町に移すこととしました。それに伴い強化選手の活気あるパフォーマンストレーニングの場などとして利用されてきたダンススポーツトレーニングセンター（DTC）の閉鎖は、誰しもが正に断腸の思いを抱かれたに違いありません。

それから1年半、競技会も徐々に開催されるようになったことなどから、2022年7月11日、再び有明事務所に戻りDTCの運用とともに業務が再開されることになりました。1年半に2度引越しをしなければならず、事務局としては何とも慌ただしい期間でしたが、職員全員の献身的な協力のもと、何とか乗り越えることができました。

そのような中、JDSFは本年4月創立45周年を迎えました。JDSFは、1977年（昭和52年）4月に前身組織である日本アマチュアダンス協会（JADA）が発足して以来、一貫して国民体育大会（以下、「国体」）とオリンピックへの参加を目指してきました。国体に参加するためには、地方組織の都道府県体育協会（以下、「県体協」[※]）への加盟と本部組織の日本体育協会（以下、「日体協」[※]）への加盟が不可欠です。

[※]日本体育協会（日体協）は、2018年4月より、日本スポーツ協会（JSPO）と名称変更し、「県体協」もそれぞれスポーツ協会に名称変更しています。

私がダンスの組織運営に関わるようになったのは1980年代末の昭和から平成に移り変わる頃でしたが、当時、JADAに加盟していた団体は13都府県連盟（協会）（以下、「県連」）で、アマチュアダンスの全国的な組織化が急速に動き始めた時期でもありました。一方で県体協への加盟は、1990年の茨城県連を初めとして福島、東京、新潟などにおいて次々と加盟が実現していきまし

た。JDSFに40県連が加盟し、そのうちの9県体協への加盟がなされていた1999年6月、日体協への準加盟が承認されました。そして、準加盟から20年と思われぬ長期間になってしまいましたが、すべての県連がJDSFに加盟するとともに、44県体協への加盟がなされていた2019年3月、ようやく日本スポーツ協会（旧：日本体育協会）正加盟が承認されました。これもひとえに県連の皆様の日常的な並々ならぬ努力の賜物に他なりません。

正加盟したことをきっかけとして、2019年の岐阜県を皮切りに、「ダンススポーツ競技会」が日本スポーツマスターズの記念事業として開催されるようになりました。さらに、私が事務局長に選任された4日後の6月9日、JSPOより2028年長野「国スポ」[※]でダンススポーツを公開競技として実施するとの通知が届きました。まだ、6年先のことですし最終的に目指している正式競技ではありませんが、45年前からの目標の一つが実現した瞬間でした。

[※]改正スポーツ基本法成立により、2023年から「国民体育大会」が新たに「国民スポーツ大会」に名称変更されることとなりました。

もう一つの目標だったオリンピックへの参加についても、スタンダード、ラテンが行われないのは残念ですが、2020年12月の国際オリンピック委員会（IOC）理事会でブレイキン（ブレイクダンス）が2024年パリオリンピックにおいて実施されることに決まりました。

コロナ第6波から第7波へとさらに続く中、7月30・31日にジュニアダンススポーツカップが東京で、また、8月28日には日本マスターズダンススポーツ競技会が岩手県花巻市で開催され、いずれも役員として参加しましたが、幅広い年齢層で楽しめるダンススポーツのすばらしさを改めて実感させられました。2023年2月26日、新宿京王プラザホテルで「PD祭」とともに創立45周年記念式典を行います。45年の歴史を振り返りつつ近年の到達点を祝い、次の世代に向けて元気が出るイベントとなるよう企画中です。事務局におけるさまざまな日常的な業務においても、至らない点多々あろうかと存じますが、職員全員で推進していく所存でございます。皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2021年度 決算書類

貸借対照表

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金・預金 | 104,068,382 | 103,280,665 | 787,717 |
| 未収金 | 24,817,490 | 20,490,130 | 4,327,360 |
| 前払金 | 4,151,242 | 2,826,860 | 1,324,382 |
| 棚卸資産 | 14,898,637 | 15,010,779 | △ 112,142 |
| 立替金 | 450,434 | 108,273 | 342,161 |
| 前払費用 | 2,488,839 | 2,578,181 | △ 89,342 |
| 仮払金 | 50,000 | 0 | 50,000 |
| 流動資産合計 | 150,925,024 | 144,294,888 | 6,630,136 |
| 2 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本財産積立定期預金 | 50,000,000 | 50,000,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 50,000,000 | 50,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 未来ダンスアスリート育成資産 | 9,003,314 | 10,766,816 | △ 1,763,502 |
| オリンピック・ムーブメント準備金 | 10,000,000 | 0 | 10,000,000 |
| 特定資産合計 | 19,003,314 | 10,766,816 | 8,236,498 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物附属設備 | 5,161,804 | 6,591,055 | △ 1,429,251 |
| 什器備品 | 1,145,983 | 1,658,377 | △ 512,394 |
| 電話加入権 | 405,510 | 405,510 | 0 |
| 商標権 | 79,686 | 91,068 | △ 11,382 |
| ソフトウェア | 20,769,070 | 20,551,806 | 217,264 |
| 特許権 | 737,500 | 887,500 | △ 150,000 |
| 敷金 | 11,433,600 | 11,457,600 | △ 24,000 |
| その他の固定資産合計 | 39,733,153 | 41,642,916 | △ 1,909,763 |
| 固定資産合計 | 108,736,467 | 102,409,732 | 6,326,735 |
| 資産合計 | 259,661,491 | 246,704,620 | 12,956,871 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 2,621,547 | 8,627,520 | △ 6,005,973 |
| 未払費用 | 285,156 | 514,159 | △ 229,003 |
| 前受金 | 1,620,719 | 320,500 | 1,300,219 |
| 前受会費 | 26,259,400 | 43,558,480 | △ 17,299,080 |
| 預り金 | 7,308,344 | 7,510,462 | △ 202,118 |
| 仮受金 | 1,454,926 | 3,837,055 | △ 2,382,129 |
| 未払法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 未払消費税等 | 5,134,100 | 1,023,200 | 4,110,900 |
| 流動負債合計 | 44,754,192 | 65,461,376 | △ 20,707,184 |
| 2 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 40,000,000 | 40,000,000 | 0 |
| 固定負債合計 | 40,000,000 | 40,000,000 | 0 |
| 負債合計 | 84,754,192 | 105,461,376 | △ 20,707,184 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1 指定正味財産 | | | |
| 受取寄付金 | 9,003,314 | 10,766,816 | △ 1,763,502 |
| (うち基本財産への充当額) | (0) | (0) | 0 |
| (うち特定資産への充当額) | 9,003,314 | 10,766,816 | △ 1,763,502 |
| 2 一般正味財産 | | | |
| (うち基本財産への充当額) | 165,903,985 | 130,476,428 | 35,427,557 |
| (うち特定資産への充当額) | (50,000,000) | (50,000,000) | 0 |
| (うち特定資産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| 正味財産合計 | 174,907,299 | 141,243,244 | 33,664,055 |
| 負債及び正味財産合計 | 259,661,491 | 246,704,620 | 12,956,871 |

正味財産増減計算書(第11期)

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------|-------------|--------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 1,000 | 5,000 | △ 4,000 |
| 受取会費 | 48,193,600 | 56,244,325 | △ 8,050,725 |
| 競技会事業収益 | 65,552,868 | 19,359,342 | 46,193,526 |
| 研修事業収益 | 7,301,970 | 7,348,270 | △ 46,300 |
| その他の事業収益 | 107,257,619 | 62,877,839 | 44,379,780 |
| 受取助成金等 | 38,262,000 | 11,182,000 | 27,080,000 |
| 教材物品販売 | 13,896,619 | 9,789,469 | 4,107,150 |
| 受取寄付金 | 1,883,502 | 1,755,693 | 127,809 |
| 雑収益 | 1,722,405 | 4,752,545 | △ 3,030,140 |
| 経常収益計 | 284,071,583 | 173,314,483 | 110,757,100 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 給料手当 | 30,148,301 | 33,974,733 | △ 3,826,432 |
| 会議費 | 352,297 | 2,567,768 | △ 2,215,471 |
| 海外派遣費 | 535,907 | 0 | 535,907 |
| 旅費交通費 | 20,664,214 | 8,349,144 | 12,315,070 |
| 審判旅費交通費 | 8,789,482 | 2,381,640 | 6,407,842 |
| 通信運搬費 | 7,978,853 | 8,926,933 | △ 948,080 |
| 減価償却費 | 8,211,143 | 7,506,856 | 704,287 |
| 印刷製本費 | 13,210,360 | 8,493,474 | 4,716,886 |
| 地代家賃 | 15,889,317 | 12,388,204 | 3,501,113 |
| 競技研修等会場費 | 24,605,573 | 12,505,422 | 12,100,151 |
| 教育研修費 | 21,678,265 | 7,461,992 | 14,216,273 |
| 委託費 | 33,633,512 | 33,777,658 | △ 144,146 |
| 教材等制作費 | 6,336,927 | 4,856,872 | 1,480,055 |
| その他 | 64,812,626 | 46,932,201 | 17,880,425 |
| 事業費計 | 256,846,777 | 190,122,897 | 66,723,880 |
| 管理費 | 22,887,941 | 31,484,495 | △ 8,596,554 |
| 経常費用計 | 279,734,718 | 221,607,392 | 58,127,326 |
| 当期経常増減額 | 4,336,865 | △ 48,292,909 | 52,629,774 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 受取助成金等(新型コロナ) | 31,090,692 | 27,773,797 | 3,316,895 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 31,090,692 | 0 | 31,090,692 |
| 当期一般正味財産増減額 | 35,427,557 | △ 20,519,112 | 55,946,669 |
| 一般正味財産期首残高 | 130,476,428 | 150,995,540 | △ 20,519,112 |
| 一般正味財産期末残高 | 165,903,985 | 130,476,428 | 35,427,557 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 受取寄付金 | 120,000 | 222,000 | △ 102,000 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 1,883,502 | △ 1,755,693 | △ 127,809 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 1,763,502 | △ 1,533,693 | △ 229,809 |
| 指定正味財産期首残高 | 10,766,816 | 12,300,509 | △ 1,533,693 |
| 指定正味財産期末残高 | 9,003,314 | 10,766,816 | △ 1,763,502 |
| III 正味財産期末残高 | | | |
| 正味財産期末残高 | 174,907,299 | 141,243,244 | 33,664,055 |

2022年6月26日の定時総会において承認された2021年度貸借対照表と正味財産増減計算書です。

2022年度スポーツ功労者顕彰等に係る 文部科学大臣顕彰および表彰式

9月28日、北京オリンピック・パラリンピック冬季競技大会及び国際競技大会優秀者等に係る文部科学大臣顕彰及び表彰式が、東京都港区白金台の八芳園一階「ジュールの間」において執り行われました。

今年度は、2022年北京オリンピック・パラリンピックを始め、世界的規模のスポーツの競技会で優秀な成績を収めた選手及びその指導者、そして、多年にわたりスポーツ活動を支援している団体、スポーツ審判員延べ178名に対して、文部科学大臣顕彰などが授与されるものです。永岡桂子文部科学大臣はじめ、山下泰裕JOC会長、室伏広治スポーツ庁長官等のご来賓もご出席され、対面で開催されました。

2024年パリオリンピック正式種目のダンススポーツ競技-ブレイキンから、2021年世界選手権金メダルに輝いた福島あゆみ（AYUMI）選手が顕彰状、銀メダルを獲得した湯浅亜実（AMI）選手に表彰状が授与されました。永岡大臣は、「スポーツ界にとって大きな励みになるだけでなく、多くの国民に誇りと喜び、夢と感動を与えています。スポーツ界の一層の発展を祈念します」と祝辞を述べまし

た。受章者を代表して坂本花織選手（フィギアスケート：北京大会女子シングル3位・団体戦3位）は、「受賞者はみな、この受章を励みとし、それぞれの分野で新たな目標に向かって邁進します」と謝辞を述べました。

石川勝之JDSF理事ブレイクダンス本部長は、IOCのパリ五輪の選考予選会の責任者、日本でただ一人のWDSF国際ジャッジとして世界を駆けまわっています。「IF（IOCに加盟する国際競技連盟、ダンススポーツはWDSF）のメンバーなのでブレイキンの国際大会にもIOCの理事や委員が訪れるので対応も大変。明日からは韓国、そしてスペインへと海外出張です。日本選手は勿論金メダル候補ですが、あとパリ五輪まで1年半、中国が最大のライバルに成長するかもしれません。そして2028年ロス五輪の正式追加種目はまだ未決定。課題も多く、パリ五輪を無事終わらせて、その先は、のんびりジュニアの育成でもやりたいと思っています」と抱負を語ってくれました。



永岡桂子文部科学大臣



左から石川ブレイクダンス本部長、湯浅選手、福島選手、神宮広報部相談役



前列左から4人目永岡桂子文部科学大臣、その右隣山下泰裕JOC会長、右端室伏広治スポーツ庁長官と受賞者及びご来賓

THE WORLD GAMES 2022 BIRMINGHAM, USA 第11回ワールドゲームズ バーミングハム大会報告

JDSFブレイクダンス本部選手強化部長 **渡邊 将広**
(ダンススポーツ日本代表チーム 監督)



公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（Japan DanceSport Federation; JDSF）は、アメリカ合衆国・バーミングハム市にて現地時間7月7日に開幕した第11回ワールドゲームズに、ブレイキン種目とスタンダード種目の日本代表選手を派遣いたしました。

この大会は99の国・地域から3,457名の選手が223個の金メダルを目指し、23会場で34競技58種目が実施され、世界最高峰のプレーや演技に10日間で375,000人の観客が詰めかけました。

アメリカ現地時間7月7日午後8時（日本時間7月8日午前10時）、プロテクトティブスタジアムにおいて開会式が開催されました。冒頭の入場行進では日本がコールされるとひと際大きな歓声が上がりました。日本の後にウクライナの選手団が

入場すると全観客がスタンディングオベーションで迎え拍手が鳴りやまず称えていた光景は実に印象的でした。100を



ダンススポーツ日本チーム 中央は山田淳JDSF専務理事



日本選手団

超える地域・国の行進が終わると、27,000人の大観衆を前にバーミングハム市のランドール・ウッドフィン市長から歓迎の挨拶と開会宣言がなされました。その後、大会を主催するIWGA（国際ワールドゲームズ協会）ホセ・ペレルナ会長からは、「本大会を一年延期し、多くの追加措置を講じなければなりません。大会組織委員会や公的機関、医療スタッフ、そしてバーミングハムの人々がこの難局に立ち向かい、私たち全員が今日ここにいることを可能にしてくれました。」と謝意を述べました。

後半は、アメリカを代表するアーティストらがパフォーマンスを披露するなど、アラバマ州で開催される史上最大の国際スポーツイベントの幕開けに相応しいものとなりました。

■The World Games 2022 DanceSport日本代表選手結果

本大会における日本代表団の結果は下記の通りです。

| 出場種目 | 氏名 | ダンサーネーム | 生年月日 | 都道府県 | 結果 |
|----------------|-------|----------|------------|------|---------------|
| ブレイキン | 福島あゆみ | AYUMI | 1983/06/22 | 京都府 | 3位 |
| | 湯浅 亜実 | AMI | 1998/12/11 | 神奈川県 | 1位 |
| | 半井 重幸 | SHIGEKIX | 2002/03/11 | 神奈川県 | 3位 |
| | 俣野 斗亜 | TOA | 1998/09/28 | 京都府 | 予選グループリーグ敗退 |
| スタンダード (ベア) | 大西 大晶 | — | 1998/11/17 | 富山県 | 18位 (予選敗退) |
| | 大西 咲菜 | — | 2001/09/02 | 富山県 | |

■ダンススポーツ競技—ブレイキン種目

ワールドゲームズ新種目として初の開催となりました。2021年WDSF世界ブレイキン選手権の結果より、17ヶ国から男子16名、女子16名の選手が参加しました。当初、7月9日は予選グループラウンド、10日はトップ8からのトーナメントの予定でしたが、9日に激しい雷雨のため急遽、10日に全てのグループラウンドから決勝トーナメントまでを行う1日で実施する日程へ変更となりました。

女子(B-Girls)では湯浅亜実選手が圧倒的な強さを見せ金メダルを獲得。福島あゆみ選手も健闘し銅メダル、男子(B-Boys)は、半井重幸選手も熾烈なマッチアップの末、銅メダルを獲得しました。



日本代表選手 (左から俣野斗亜、福島あゆみ、湯浅亜実、半井重幸)



女子(B-Girls)表彰式
金メダル湯浅亜実(中央)、銅メダル福島あゆみ(右)

■優勝した湯浅亜実選手

「ワールドゲームズへ出場してみても、緊張してとても疲れたけど最初から最後まで楽しめました。金メダルまでの過程で福島あゆみさんやサニー (Grace Sun Choi) と当たり、決勝が近づくと金メダルが取れるかもしれないと考えてしまうこともありましたが、バトルに集中することに頭を切り替えることを繰り返し行いました。だからこそ、決まった瞬間はとても嬉しかったです。今回のワールドゲームズでは、金メダルを獲得することも嬉しかったが、長い大会の過程で最後までラウンドをこなすことで、改善点を得たり、体力をつけたりする必要性も感じる事ができ、全てが今後のステップにつながりました！」



金メダルに輝いた湯浅亜実選手



(B-Boys) 表彰式
銅メダル半井重幸(左)



銅メダル 福島あゆみ選手



銅メダル 半井重幸選手 右は俣野斗亜選手

■ダンススポーツ競技—スタンダード種目

日本からは、2022年の世界ランキングにおける順位により大西大晶・大西咲菜組が出場しました。



出番前の大西組



華麗なダンスを披露する大西組

文部科学大臣賞争奪

第17回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ2022 in 東京

ジュニア・ユース世界選手権代表選考会 協賛 株式会社ブルボン

2022年7月30日(土)・31日(日) / BumB東京スポーツ文化館

第17回オールジャパンジュニアダンススポーツカップが、3年ぶりに戻ってきました。7月末の猛暑にもかかわらず、30日・31日の両日、東京江東区のBumB東京スポーツ文化館は、全国からこの大会を目標にがんばってきたジュニア選手、コーチや父兄のみなさんが集まり、その熱気は最高潮に達しました。

2日間にわたった熱戦の結果、ジュニアダンスカップで栄えある文部科学大臣賞を手にしたのは、スタンダードとラテンの両種目を制した濱田琉成・内山マリーナ組。全日本選手権ユースでは、ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組がこちらも2種目を制しました。(2023年の本大会は、群馬県高崎市の高崎アリーナでの開催予定です)



大会会長 布村幸彦(公社) 実行委員長 溝口 稔 山下りえ子
日本ダンススポーツ連盟会長 JDSFジュニア育成部長 チェアパーソン

ベストマナーカップル賞を受賞した佐々木知範さんと馬場明里さん

ジュニア選手たちに配られるブルボン提供の副賞



文部科学大臣賞争奪ジュニア戦 スタンダード

小林才時・前田佳音組 (ブルボンDST/長野県) 準優勝 (同S優勝)
足立拓海・佐藤叶望組 (千葉県/ダンスチームみやおか) 第3位

文部科学大臣賞争奪ジュニア戦 ラテン

南山雄大・竹内杏奈組 (長野県) 第3位
岡内唯一・岡内暖羽組 (大阪府/Jr.DSC大阪) 準優勝

濱田琉成・内山マリーナ組 (栃木県/木嶋クラブ)

濱田琉成・内山マリーナ組 (栃木県/木嶋クラブ)

全日本選手権ユース戦 スタンダード

藤枝大河・宮澤めぐ組 (埼玉県/ADSジュニア) 第4位 (同S優勝)
茂呂駿舞・今村朱里組 (Jr.AC/ジュニアアスリートクラブ) 第5位
山下晴之・磯部 愛組 (Jr.AC/ジュニアアスリートクラブ) 第6位

全日本選手権ユース戦 ラテン

藤枝大河・宮澤めぐ組 (埼玉県/ADSジュニア) 第6位 (同S第4位)
外村温仁・社本実由組 (神奈川県/横浜中央キッズC) 第5位
小林才時・前田佳音組 (ブルボンDST/長野県) 第4位 (同S優勝)

ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組 (ブルボンDST/神奈川県) 優勝 (同S優勝)
中村エドワード・中村エリザベス永理組 (Jr.AC/ユースアスリートクラブ) 準優勝
木下将希・小西乙愛組 (ブルボンDST/千葉県) 第3位

山本壮真・三喜真梨菜組 (ブルボンDST/愛知県) 第3位
高橋 海・鈴木柚葉組 (ブルボンDST/千葉県) 準優勝
ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組 (ブルボンDST/神奈川県) 優勝 (同S優勝)

北島 蓮・榮岩茉莉那組 (Jr.AC/ユースアスリートクラブ) 第4位
小島獅桐・馬場梨紗子組 (群馬県/ハッピーダンスクラブ) 第5位
山下通聖・山下実彩妃組 (愛知県/ユースアスリートクラブ) 第6位
原口侖弥・大西陽来里組 (富山県/ハッピーHappyクローバー) 第7位 (同S第6位)

原口侖弥・大西陽来里組 (富山県/ハッピーHappyクローバー) 第6位 (同S第7位)
高階 凌・榮岩由莉那組 (北海道) 第5位
今西竜矢・今西心菜組 (ブルボンDST/東京都) 第4位

30日(土) 競技



中学生ソロ リーダーステップの部 W表彰式

- 優 勝 小宮康平 (神奈川県) 第5位 斉藤愛心 (茨城県)
 準優勝 藤枝大河 (埼玉県) 第6位 佐々木虹湖 (埼玉県)
 第3位 南山雄大 (長野県) 第6位 馬場愛里 (新潟県)
 第4位 原口理弥 (埼玉県)



中学生ソロ リーダーステップの部 S表彰式

- 優 勝 南山雄大 (長野県) 第4位 若山史穂 (Jr.A.C.)
 準優勝 藤枝大河 (埼玉県) 第5位 小宮康平 (神奈川県)
 第3位 斉藤愛心 (茨城県) 第6位 原口理弥 (埼玉県)



中学生ソロ パートナーステップの部 W表彰式

- 優 勝 竹内杏奈 (千葉県) 第4位 佐藤叶望 (千葉県)
 準優勝 打越心優 (茨城県) 第5位 水田奈那 (京都府)
 第3位 打越聖愛 (千葉県) 第6位 坂本瀧優 (宮城県)



中学生ソロ パートナーステップの部 S表彰式

- 優 勝 竹内杏奈 (千葉県) 第4位 安原ゆめる (山梨県)
 準優勝 佐藤叶望 (千葉県) 第5位 打越聖愛 (千葉県)
 第3位 三上真代 (神奈川県) 第6位 金田香織 (富山県)



小学生ソロ リーダーステップの部 W表彰式

- 優 勝 児山遥都 (栃木県) 第5位 藤田陽翔 (大阪府)
 準優勝 佐々木侑平 (埼玉県) 第6位 藤枝修也 (埼玉県)
 第3位 佐々木知範 (埼玉県) 第7位 鈴木海璃 (Jr.A.C.)
 第4位 田所葉弓 (埼玉県)



小学生ソロ リーダーステップの部 S表彰式

- 優 勝 福原聖太 (埼玉県) 第4位 藤枝修也 (埼玉県)
 準優勝 児山遥都 (栃木県) 第5位 湯本莉央 (茨城県)
 第3位 佐々木侑平 (埼玉県) 第6位 鈴木海璃 (Jr.A.C.)



小学生ソロ パートナーステップの部 W表彰式

- 優 勝 馬場明里 (新潟県) 第4位 柴田莉奈 (千葉県)
 準優勝 柳麻希子 (Jr.A.C.) 第5位 吉村城音 (千葉県)
 第3位 加藤向葵 (千葉県) 第6位 伊藤颯希 (千葉県)



小学生ソロ パートナーステップの部 S表彰式

- 優 勝 柳麻希子 (Jr.A.C.) 第4位 柴田莉奈 (千葉県)
 準優勝 土屋海音 (Jr.A.C.) 第5位 加藤向葵 (千葉県)
 第3位 下園架乃 (Jr.A.C.) 第6位 佐藤緒心 (栃木県)



チャイルドダンス チャチャチャ表彰式

- 優 勝 間格・李明欣組 (Jr.A.C.)
 準優勝 今城雨翰・藤村友組 (Jr.A.C.)
 第3位 寺本ゆう・鈴木海璃組 (神奈川県)
 第4位 ダニレコ グリゴーリ・廣瀬笑里組 (富山県)
 第5位 藤本 歩・松田凜星組 (茨城県)
 第6位 熊谷奈々・松田凜音組 (茨城県)
 第7位 ボウ涵歩・前川美桜組 (神奈川県)



チャイルドダンス マンボ表彰式

- 優 勝 寺本ゆう・鈴木海璃組 (神奈川県)
 準優勝 栗原梨央・足立結菜組 (茨城県)
 第3位 熊谷奈々・松田凜音組 (茨城県)
 第4位 浜田唯衣・斉藤愛心組 (茨城県)
 第5位 藤本 歩・松田凜星組 (茨城県)
 第6位 大町詩織・湯本子依組 (茨城県)



小学生4年以下 メレンゲ表彰式

- 優 勝 山内瑞織・塚本彩巴組 (神奈川県)
 準優勝 足立結月・松田凜空組 (茨城県)
 第3位 ダニレコ グリゴーリ・ダニレコ エリザベータ組 (富山県)
 第4位 下園一心・下園架乃組 (Jr.A.C.)
 第5位 ラバ アリーサ・シュルガリナ アリーサ組 (富山県)
 第6位 湯本子 依・大町詩織組 (茨城県)
 第7位 藤本 歩・栗原梨央組 (茨城県)
 第8位 石井惺一郎・熊谷奈々組 (茨城県)



小学生4年以下 サルサ表彰式

- 優 勝 足立結月・松田凜空組 (茨城県)
 準優勝 山内瑞織・塚本彩巴組 (神奈川県)
 第3位 ダニレコ グリゴーリ・ダニレコ エリザベータ組 (富山県)
 第4位 下園一心・下園架乃組 (Jr.A.C.)
 第5位 中島華乃・西川結子組 (Jr.A.C.)
 第6位 湯本子 依・大町詩織組 (茨城県)

31日(日) 競技



ジュブナイル戦 スタンダード表彰式

- 優 勝 斉藤有音・柴田莉奈組 (千葉県/ダンスチームみやわか)
 準優勝 吉岡裕太・加藤向葵組 (千葉県/ダンスチームみやわか)
 第3位 児山遥都・柳麻希子組 (栃木県/木嶋クラブ)
 第4位 福原聖太・朴美静組 (埼玉県/ADSジュニア)
 第5位 金子祐大・金子葵組 (栃木県/木嶋クラブ)
 第6位 藤枝修也・市島京音組 (埼玉県/ADSジュニア)
 第7位 渡邊詠仁・戸咲組 (山梨県/キラビーキッズ山梨)



ジュブナイル戦 ラテン表彰式

- 優 勝 児山遥都・柳麻希子組 (栃木県/木嶋クラブ)
 準優勝 福原聖太・朴美静組 (埼玉県/ADSジュニア)
 第3位 斉藤有音・柴田莉奈組 (千葉県/ダンスチームみやわか)
 第4位 吉岡裕太・加藤向葵組 (千葉県/ダンスチームみやわか)
 第5位 金子祐大・金子葵組 (栃木県/木嶋クラブ)
 第6位 水田悠斗・大塚千榮組 (京都府/京都ジュニアダンススポーツ)



女子高校生 スタンダード表彰式

- 優 勝 西嶋万葉・岩崎咲希組 (富山県)
 準優勝 田口莉彩・福原聖彩組 (埼玉県)
 第3位 中島優嘉・鈴木陽菜乃組 (埼玉県)
 第4位 福村 華・松田凜音組 (茨城県)



女子高校生 ラテン表彰式

- 優 勝 中島優嘉・田口莉彩組 (埼玉県)
 準優勝 西嶋万葉・岩崎咲希組 (富山県)
 第3位 福原聖彩・鈴木陽菜乃組 (埼玉県)



女子中学生 スタンダード表彰式

- 優 勝 野澤和心・上野夏実組 (山梨県)
 準優勝 斉藤愛心・打越心優組 (茨城県)
 第3位 橋本華花・新井日菜組 (埼玉県)
 第4位 伊木心晴・高瀬 遥組 (山梨県)
 第5位 藤本のぞみ・松田凜星組 (茨城県)
 第6位 千葉優月・蛇沼咲貴組 (埼玉県)



女子中学生 ラテン表彰式

- 優 勝 斉藤愛心・打越心優組 (茨城県)
 準優勝 野澤和心・鈴木彩葉組 (山梨県)
 第3位 後藤真歩・廣瀬笑里組 (富山県)
 第4位 藤本のぞみ・松田凜星組 (茨城県)
 第5位 伊木心晴・高瀬 遥組 (山梨県)
 第6位 水田奈那・水田早紀組 (京都府)
 第7位 橋本華花・新井日菜組 (埼玉県)



小学生4~6年 スタンダード表彰式

- 優 勝 渡邊桐葉・鈴木一葉梨組 (山梨県)
 準優勝 山下夏野・安藤茉莉組 (Jr.A.C.)
 第3位 佐々木侑平・林日和組 (埼玉県)
 第4位 大谷真央・大野世莉組 (茨城県)
 第5位 西川詞子・熊坂咲紀組 (Jr.A.C.)
 第6位 田所葉弓・長谷川千明組 (埼玉県)
 第7位 宮本織羅・屋形優心組 (茨城県)



小学生4~6年 ラテン表彰式

- 優 勝 佐々木侑平・林日和組 (埼玉県)
 準優勝 渡邊桐葉・鈴木一葉梨組 (山梨県)
 第3位 十文字心椋・勝木瑠花組 (Jr.A.C.)
 第4位 田所葉弓・長谷川千明組 (埼玉県)
 第5位 吉田和馬・木山紗矢香組 (Jr.A.C.)
 第6位 鄭錦熙・梁永晴組 (Jr.A.C.)



小学生1~3年 スタンダード表彰式

- 優 勝 足立博海・李徐えん組 (千葉県)
 準優勝 鈴木海璃・寺本ゆう組 (Jr.A.C.)
 第3位 本多千杜・櫻庭ゆりあ組 (神奈川県)
 第4位 藤村 友・今城雨翰組 (Jr.A.C.)
 第5位 大谷美葵・片山穂子組 (東京都)
 第6位 下園一心・下園架乃組 (Jr.A.C.)
 第7位 石山奈々佳・神戸 晴組 (山梨県)



小学生1~3年 ラテン表彰式

- 優 勝 藤村 友・今城雨翰組 (Jr.A.C.)
 準優勝 鈴木海璃・寺本ゆう組 (Jr.A.C.)
 第3位 足立博海・李徐えん組 (千葉県)
 第4位 石山奈々佳・奥山絹子組 (山梨県)
 第5位 下園一心・下園架乃組 (Jr.A.C.)
 第6位 藤本歩・栗原梨央組 (茨城県)

第22回関東甲信越ブロック選手権大会

9月25日(日) / 千葉ポートアリーナ

主催: 関東甲信越ブロック 主管: 千葉県ダンススポーツ連盟

千葉県ダンススポーツ連盟副会長 島本 長範
(関東甲信越ブロック運営委員)

本大会は、1999年に東京都で第1回がスタートし、その後、関東甲信越ブロック、1都9県が順番に開催してきましたが、前回の2019年に21回目を開催してから2年間は、新型コロナウイルス感染症による影響で中止となり、今回は3年ぶりの開催。選手のエントリー数や、大会の盛り上がりが懸念されましたが、多くの観客と280組の選手に参加していただき、選手権をはじめ全ての競技において熱戦が繰り広げられました。

ブロック選手権は、ラテン48組、スタンダード82組により戦われ、ラテンは、Tudor Andrei・吉川あみ組、スタンダードは、守屋駿・盛田舞香組が制しました。なお、ブロック選手権で準決勝に進出したカップルは、来年度の三笠宮杯出場権が与えられます(他ブロック、及び全日本学連に所属のカップルは対象外です)。

この大会のもう1つの見どころは団体戦です。第2回の大会から都県対抗戦と銘打って10チームによる団体戦が行われています。1チームは10組で構成され、10ダンスで総合優勝を争いますが、フロアで戦う選手、それを応援する各チームの陣地、そして2階観客席からの応援が加わり、会場全体が大変な熱気の中での戦いとなりました。団体

戦総合優勝は東京都が前回大会に続き2連覇を果たしました。団体戦に参加した選手の感想を紹介します。

「とにかく楽しかった!次回も必ず出ます!!」

「これまでも何度か出ましたが、改めてチームで戦う楽しさ、喜びを感じました!」

個人の成績が優先されることの多いダンススポーツですが、団体戦の面白さ、楽しさが伝わるとても良い機会となりました。こちらも3年ぶりということで団体戦へのエントリーに苦心されたチームもありましたが、今後もこの熱気、この感動を絶やさないように団体戦を続けていきます。

昼休みを利用して千葉市にスタジオがあるPICK ACTIONのB-Boy B-Girlによるブレイキンの演技披露があり、ダイナミックでアクロバティックな動きだけでなく音楽と一体化した多彩なステップで会場を魅了しました。ブレイキンを初めて見る方には大きな衝撃と新しい風を感じていただいたと思います。これからもさまざまな機会を通してブレイキンの魅力を伝えていきます。

来年は、埼玉県ダンススポーツ連盟の主管で、埼玉県川越市で開催されます。選手の皆さん、観客の皆さん、埼玉県川越市でお会いしましょう。



山田淳 JDSF 専務理事挨拶



渡辺英美 関東甲信越ブロック運営委員長挨拶



次回開催の埼玉県連盟高橋久雄会長への引継式



宮内秀幸・宮内久美子組(千葉県) 選手宣誓



B級戦 スタンダード



B級戦 ラテン



シニアⅢ A級戦 スタンダード



シニアⅢ A級戦 ラテン



C級戦 スタンダード



C級戦 ラテン



プレジュニア スタンダード



プレジュニア ラテン



D級戦 スタンダード



D級戦 ラテン



都県対抗団体戦 優勝 東京都

[YouTube配信のお知らせ]
大会の様子は、JDSF関東甲信越のYouTubeチャンネルで配信しています。



都県対抗団体戦 準優勝 神奈川県



都県対抗団体戦 第3位 埼玉県

関東甲信越ブロック選手権大会 スタンダード

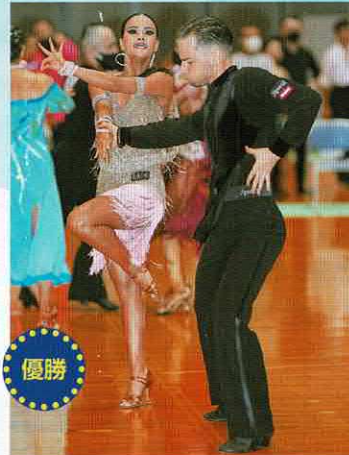
関東甲信越ブロック選手権大会 ラテン



優勝
守屋駿・盛田舞香組 (神奈川県)



準優勝
佐藤祐馬・久保田理沙組 (東京都)



優勝
Tudor_Andrei・吉川あみ組 (東京都)



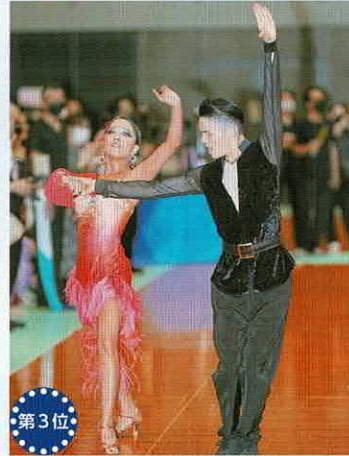
準優勝
今西竜矢・今西心菜組 (ブルボンDST)



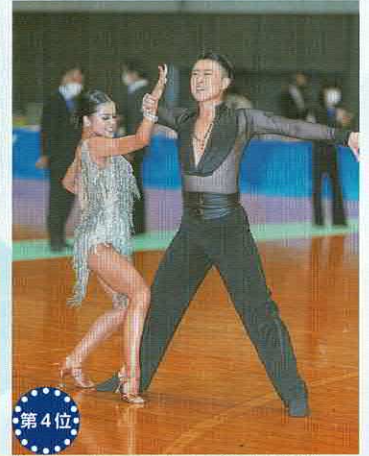
第3位
倉田兎敏・山本菜歩子組 (埼玉県)



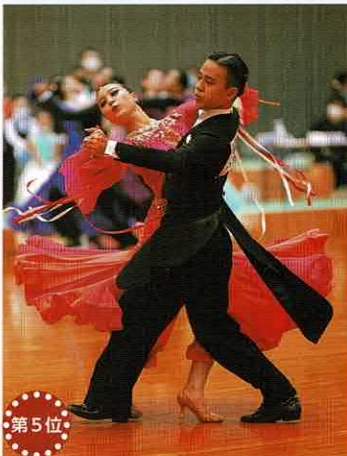
第4位
倉科翼・付録明河組 (東京農業大学)



第3位
太田佳輝・岡田愛彩組 (長野県)



第4位
佐久間翔太・本白水ナナ組 (東京都)



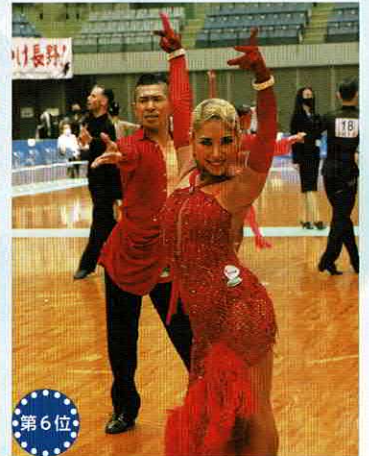
第5位
吉田周平・吉田有沙組 (ジュニアアスリートクラブ)



第6位
小塩大河・板岡真由組 (東京都)



第5位
中村エドワード・中村エリザベス永理組 (ジュニアアスリートクラブ)



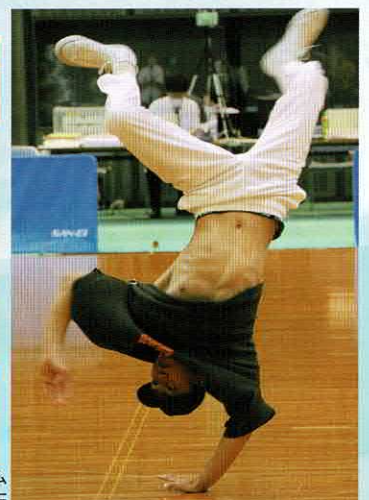
第6位
村瀬賢一・小笹詩織組 (埼玉県)

都県対抗団体戦総合成績

| | | | | | |
|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 優勝 東京都チーム | 準優勝 神奈川県チーム | 3位 埼玉県チーム | 4位 千葉県チーム | 5位 長野県チーム | 6位 新潟県チーム |
|--------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|



応援にも熱が入る都県対抗団体戦

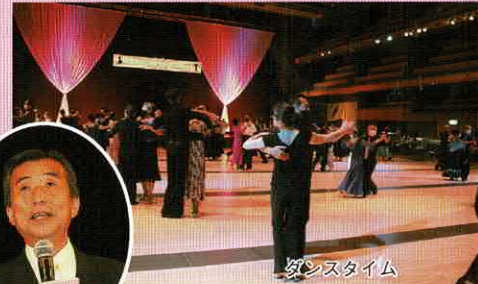


ブレیکن ハーフタイム SHOW CASE

第4回 SHIZUOKA ダンスコレクションin2022 開催

2022年8月21日(日) / 静岡市グランシップ「海」 主催: 静岡県ダンススポーツ連盟

1989年(平成元年)より静岡県ではサークル演技発表の場として毎年「大舞踏会」が開催され、30回を重ねました。しかしながら、会員の高齢化と減少、マンネリ化により参加者も減少の一途となり、ここで止めたら静岡県連盟は衰退するだけ、非競技系のイベントはもう困難として決断。2019年10月13日、第1回の静岡ダンコレを開催。以後、毎年開催され、今回は第4回を迎えました。県連の加盟サークルはもとよりJDSF認定ダンス教室のデモ、トライアルやフォーメーションさらにパリ五輪正式種目のブレイクダンス(ブレイキン)、さらに手軽に楽しめるヒップホップ等、ジャンルを超えた多くのダンス愛好者が集合し盛大に開催されました。



ダンスタイム



金子和裕静岡県
ダンススポーツ連盟
会長挨拶



溝口稔JDSFジュニア育成部長と
落合みどりさん
(チャチャツ子静岡)
のスローフォックストロット

スペシャルデモンストレーション

JDSFユース日本強化選手ブルボンDSTの今西竜矢・今西心菜組のデモ、さらにブレイキン選手とのコラボも披露されました



左から 金子会長(JDSF常務理事)、唐沢ブレイクダンス部長、今西組、神宮JDSF広報部相談役、溝口大会顧問



今西組のデモ



人気のワークショップは、ステージ、さらにフロア一杯に展開されました

مامーズダンスクラブ河原崎愛弓講師、約80名がヒップホップ



静岡県ダンススポーツ連盟唐沢剛史ブレイクダンス部長によるブレイクダンス



今西組とブレイキンBoyとのコラボ

フォーメーション



カヨーハートによるバンドブレ



静岡県ブレイキンB-Boys



東部DSC芸能部 ショーダンス



スマイル・アフロのタンゴ



夏目ダンススタジオの元気ダンスチーム



ミニーハート夏目ダンススタジオ ルンバ&パン



サカモトダンス学院の50名によるジュニアヒップホップ

デモンストレーション



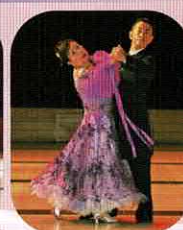
青木萌・古屋好克組



五老和代・伏見隆夫組



野木悦子・手塚慎一組



高野久美子・夏目和夫組



静岡ダンスコレクション無事終了、最後までお疲れ様です!

キッズ・スポーツ・チャレンジ (BREAKDANCE CHALLENGE)



ユニフォーム着用のプラチナキッズ

右袖には埼玉県の赤いマーク

2022年8月17日(水) / さいたま市プラザノース多目的ホール
主催：公益財団法人埼玉県スポーツ協会、埼玉県ダンススポーツ連盟

埼玉県DS連盟は今年の総会において、新たに「ブレイクダンス部」が創設されました。埼玉県では平成23年度から、将来オリンピックなどの国際舞台で活躍し、県民に夢と感動を与えるアスリートになりたい夢を持つ子どもたちを応援する目的で「埼玉県ジュニアアスリート(彩の国プラチナキッズ) 発掘育成事業」を実施しています。毎年、県内の小学校4年生を対象に1000人を超える希望者の中からスポーツ能力に優れた素質も持つ子供たち30名前後(プラチナキッズ)を認定しています。

ブレイキン(ブレイクダンス)が2024年パリオリンピック種目になったことにより、埼玉県スポーツ協会

加盟の埼玉県DS連盟(会長：高橋久雄)に事業参加の依頼があり、初の開催が実現しました。

埼玉県スポーツ協会から、彩の国アスリート育成プロジェクト統括の本間孝太郎競技支援課長と兒玉雅恵オフィサー、さいたま市からスポーツ文化局スポーツ部新井玄也主事が出席され見守る中、プラチナキッズ(小学5・6年生)と希望のキッズ25名が受講し、倉谷知央ブレイクダンス部長(TONO)と草間玲美指導員(REIMI)の指導の下に基礎となるフットワーク&フリーズなどを学び、活気あるブレイクダンス体験会となりました。



◀◀ 講習風景



《ご来賓と役員》

前列右から、さいたま市役所新井主事、埼玉県スポーツ協会本間課長、倉谷ブレイクダンス部長、草間指導員、神宮JDSF広報部相談役、高橋埼玉県連事務局長、後列左から、蒲生JDSF競技部本部顧問、河内県連副会長、埼玉ブレイクダンス部アシスタントのお二人

埼玉県DS連盟
倉谷ブレイクダンス部長



全員集合記念



日本スポーツマスターズ2022岩手大会記念事業 ダンススポーツ競技大会



8月28日(日)／花巻市総合体育館

今年11月20日(日)、神奈川県で開催されるねんりんピック(全国健康福祉祭)は生涯スポーツの定着を目指したスポーツの祭典であり、シニア版の国体とも呼ばれています。

「日本スポーツマスターズ」の記念すべき第1回大会は、2001年に宮崎県で開催され、選手・監督5354名が参加しました。

本大会は、2019年3月、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF)が公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO:旧日体協)に正加盟を果たした8月に「2019ぎふ清流大会」から記念事業として始まりました。

新型コロナウイルスの感染者数も拡大し第7波となり、依然として取り巻く環境も厳しい中、全国21都道府県から148組、296名のアスリートのエントリーがありました。

WDSF世界シニア大会(Ⅲ)日本代表選考会、全日本選手権シニアⅢ、Ⅴ、さらにコロナで開催できなかった東北ブロック選手権も併催となりました。



金子和裕実行委員長
(JDSF常務理事)



中道俊之岩手県DS
連盟会長(JDSF理事)



蒲生志津雄チエア
パーソン(競技部顧問)



選手宣誓 佐藤 誠・
佐藤美喜子組(岩手県)



岩手県コーナーでは、いわての観光や物産の説明、さらに最上級のお米「金色の風」と、一粒一粒が輝くお米「銀河のしずく」2Kgが希望者全員に配布されました。



地元の岩手大学競技ダンス部員
もお手伝い

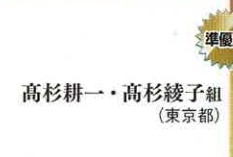
マスターズI スタンダード



高橋一昌・高橋由紀子組(PD埼玉県)



「この大会は、最も緊張する大会なのですが、3連覇でき、ほっとしています。花巻温泉を楽しみにしていました。岩手県に滞在したのは初めて、競技会も初めてです。良い思い出になります!!」



高杉耕一・高杉綾子組
(東京都)



藤見昭次・藤見美子組
(PD福島県)

マスターズII ラテン



鈴木英行・鈴木まみ組(宮城県)



青柳 清・青柳かよ子組
(岩手県)

石川賀郎・小川保子組
(静岡県)



マスターズIII スタンダード

今井正幸・今井由香組(東京都)



マスターズII スタンダード

長谷川和美・長谷川 祥組(PD秋田県)

「藤見昭次・美子組(PD福島県)と共に東北地方初のPD現役選手。父親が体調を崩したこともあり、6年前に秋田市内の教室を継承。「秋田県を中心に毎週、東京や埼玉の教室にもレッスンで出かけています。昨年はPD東京都所属で出場した岡山大会に続くマスターズII2連覇です。PD部門には設立初期から登録していました。当初は多忙のあまりPDのコンペには出ていなかったのですが、近年は2019年台湾オープンではPDマスターズIで優勝、ジャーマンオープンにも出場するなど海外の競技会にも出場しています。今日は同じ教室の元全東北学連会長(秋田大学教授)の小原先生カップルと共に優勝できてうれしく思います」

長谷川組(右)とマスターズIVスタンダード優勝の
小原久・滝田はつ子組(秋田県)



兄後幸大・兄後智子組
(PD北海道)



久保安洋・小林恒子組
(青森県)(B級S優勝)



滝 謙一・小永井裕子組
(静岡県)



マスターズIII ラテン

武田澄人・武田 歩組(埼玉県)



優勝

マスターズⅣ スタンダード

◀ 小原 久・滝田はつ子組 (秋田県)

小沢 太・小沢栄子組 ▶ (岩手県)

優勝

マスターズⅣ ラテン

優勝

マスターズⅤ スタンダード

◀ 林 伸男・林 民子組 (岐阜県)

奥井 恒明・工藤 啓組 ▶ (神奈川県)

優勝

マスターズⅤ ラテン

東北ブロック選手権

JDSF A級戦 スタンダード

優勝 松浦 龍騎・松浦優莉華組 (山形大学/宮城県)

準優勝 梅沢 里玖・鹿野田 花組 (宮城県)

第3位 古澤 陽生・斎藤 恵組 (岩手県)

JDSF A級戦 ラテン

優勝 松浦 龍騎・松浦優莉華組 (山形大学/宮城県)

準優勝 奥津 拓翔・奥津 樺音組 (宮城県)

第3位 佐藤 誠・佐藤美喜子組 (岩手県)

A級スタンダード・ラテン共に優勝 松浦龍騎・松浦優莉華組 (山形大学/宮城県)
 JDSFアダルト強化選手、リーダーは山形大学2年生、競技ダンス部に所属。21歳と20歳の姉弟カップル。
 「今日は少し体力的に不安がありましたが!三笠杯優勝目指して頑張ります」

JDSF B級戦 スタンダード

JDSF B級戦 ラテン

JDSF C級戦 スタンダード

JDSF C級戦 ラテン

JDSF D級戦 スタンダード

JDSF D級戦 ラテン

元気発刺! 最高齢選手

西條 昌三・西條 益子組 (秋田県)

マスターズⅤスタンダード出場、見事に一次予選突破。奥様は89歳、ご主人は76歳の元気発刺カップル!週3回は練習しています。これしか趣味がありません。得意はワルツ、今日はフロアが滑り、足を取られてイマイチの出来でした!

都道府県別団体戦

●優勝 福島県 ●準優勝 東京都 ●第3位 岩手県

北海道 青森県

ブラカードを掲げて開会式

ダンススポーツグランプリin静岡2022

全日本選手権ユース スタンダード&ラテン

2022年7月24日(日) / 浜松アリーナ

浜松市は市民のスポーツ意識の向上及びスポーツ振興を図るため、競技団体等が浜松市内で開催されるスポーツ大会のうち、国際大会や全国を対象といった条件にマッチした大会に対して補助金が交付されます。金子和裕実行委員長 (JDSF常務理事 静岡県DS連盟会長) は、「ダンススポーツグランプリin静岡」は昨年に引き続き「浜松市スポーツ大会開催事業費補助金交付事業」として開催されたことを話してくれました。

来年のNHK大河ドラマには、徳川家康を描く「どうする家康！」が決定、浜松駅前には「出世大名 家康くん」も飾られました。



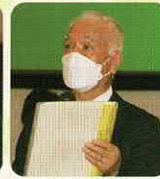
浜松駅前の出世大名家康くんの植栽



優勝カップ



金子和裕
実行委員長
(JDSF常務理事、
静岡県DS連盟会長)



毎原保信
チェアパーソン
(愛知県DS連盟
事務局長)



杉山典克
副実行委員長
(静岡県DS連盟
競技本部長)

グランプリ スタンダード

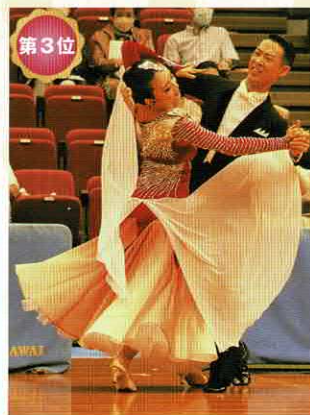
昨年の三笠宮杯から、大西組と小嶋組は勝ったり負けたり2勝2敗、昨年の全日本スタンダードランキングも同点1位、今日も大接戦となりましたが、大西組が勝利、オナーダンスは、タンゴを踊りました。



優勝



準優勝



第3位

小嶋みなと・盛田めぐみ組
(神奈川県)

藤森春樹・金山咲月組
(東京都)



第4位

熊谷光晃・
粕尾明日香組
(東京都)



第5位

太田歩生・松本京佳組
(北海道)



第6位

佐藤祐馬・
久保田理沙組
(東京都)

大西大晶・大西咲菜組(富山県)

優勝できて嬉しいですが、今日はフロアに出るところから退場の終わりまで、特に表情には気を遣いました。今年は米国バーミングハム市のワールドゲームズに出場できました。ブレیکن(ブレイクダンス)の選手たちとも一緒に行動でき、非常に楽しい思い出になりました！



喜びの決勝ファイナル選手一同

JDSF A級戦

ラテン



優勝

足立陽貴・足立心優組(京都府)



準優勝

阿部幸哉・阿部春香組(愛知県)



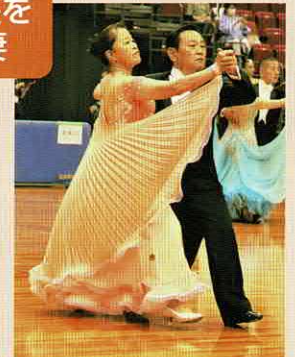
優勝

JDSF B級戦

スタンダード

渡瀬尚貴・林沙苗組
(日本大学/早稲田大学)

ファイナル入り! 愛知県DS連盟会長を 務める佐合ご夫妻



全日本10ダンス選手権を毎年愛知県で開催しています。開催にあたっては、いつも関係の皆様へ感謝です。今日はB級戦に挑戦。頑張ってファイナル第6位に入ることができました。ご声援ありがとうございました！



優勝

木下将希・小西乙愛組
(ブルボンDST)



16歳と15歳、高2と高1のペア。今日のグランプリ戦では準決勝にも残ることができず残念です。このところ練習不足でしたが頑張りました。優勝できてうれしいです。優勝では昨年の三笠宮杯U-23で優勝できたのが良い思い出です！



準優勝

中村エドワード漸・中村エリザベス永理組
(ジュニアアスリートクラブ)



第3位

ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組
(ブルボンDST) (同La 4位)



第4位

津田琥汰朗・津田マリア組 (大阪府)



第5位

高階凌・榮岩由莉那組
(北海道)

山本壮真・三喜真梨菜組
(ブルボンDST) (同St 6位)

全日本選手権ユース ラテン



優勝

高橋海・鈴木柚葉組 (ブルボンDST)



準優勝

今西竜矢・今西心菜組
(ブルボンDST)



第3位

第6位



第5位

原口侑弥・大西陽来里組
(富山県)

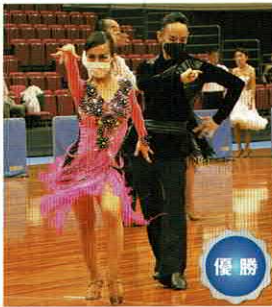
JDSF C級戦 スタンダード

JDSF C級戦 ラテン



優勝

マッカーニー学斗・安齋佳恵組
(ジュニアアスリートクラブ)



優勝

下岡ヘンリー・山田佑美組
(東京都)

シニアII A級戦 スタンダード

シニアII A級戦 ラテン



優勝

松林勝・藤めぐみ組
(滋賀県)



優勝

山本明・山本晴美組
(愛知県)

シニアIII A級戦 スタンダード



優勝

古澤誠・緑谷朱三江組
(愛知県)

今日はシニア戦ではなくA級戦ラテンに果敢に挑戦、見事ファイナルに進出。メダルのチャンスもありましたが、惜しくも僅差で第5位となりました。



左から金子和裕大会実行委員長、蛭川博信・浅田舞組、大西大晶・大西咲菜組、神宮周二広報部相談役

蛭川博信・浅田舞組
4月の熊本グランプリではシニアIラテンに出場しましたが第6位と良くなかったので、グランプリチャンピオンの大西大晶・大西咲菜組にもアドバイスを頂き、毎日のように練習しました。今日はA級戦に挑戦でしたが出来は15%、持っている力を100%出したい！目指すは世界シニアチャンピオンです！





2022

ジャーマンオープン観戦記

2022年8月9日～8月13日/ドイツ・シュトゥットガルト

JDSF国際部 堀ノ内基子



待ち望んでいた コロナからの夜明け！

2022年の春頃から徐々に各国の入国規制が緩和されはじめて、一般的に海外旅行に行けるようになってから初めてのビッグコンペ (GrandSlam Standard & Latinを含む) が、このジャーマンオープンでした。8月時点、日本ではまだ帰国前にPCR検査をして陰性証明の取得が必要なので少し不安はあるものの、覚悟を決めて日本からも20組近くの選手が参戦されました。大会の開催地シュトゥットガルトは、バーデン＝ヴュルテンベルク州に属し、とにかく大会を開催するためには州が定めるCOVID-19の規制緩和を待たなければならず、2019年の開催後から延期を余技なくされ、3年振りに開催されたものの、今度はロシア・ウクライナ問題の関係もあり心配されましたが、大会主催者の様々な配慮があり結果的には大会は大成功だったと思います。



シュトゥットガルトの街

シニア選手にとってはありがたい大会



主にシニア戦の競技会場

なんと「WDSF Senior Standard II、III、IV」についてはそれぞれ2回づ設定され、選手は希望すれば2回とも出場可能で、それぞれのランキングポイントを獲得することが出来るのです。そして今回からはじめて「GOC Senior V Standard」(70～75歳以上)が設定され、今までは70歳以上の選手は「Senior IV」で頑張ることしか出来ませんでした。今回、「Senior V」に参戦し、表彰台に登るチャンスがめぐってきたわけです。今回、日本からのご出場者はありませんでしたが、来年はきっと日の丸があがるのではと期待は大です。

盛り上がったジュブナイル、ジュニア部門

ジュニアの部では2019年までは「Junior I, II」のStandard・Latin・10-DanceについてGOC部門でしたが、今回からはWDSF部門となり、選手にとっては大きな励みになりました。例年、ロシアから多くの選手が参戦しますが、今回は参加できないということでした。ウクライナからは少数ですが参戦し、ファイナルに入った選手もいました。その頑張っている姿を見ると応援したい気持ちでいっぱいになりました。

ジュブナイル、ジュニアの部ではファイナルの前には国旗を身にまとっての入場行進があります。保護者や先生の応援



Junior I, Latin 第3位のウクライナ選手



国旗を纏って結果発表

合戦も各国競い合って大変な盛り上がりで、まるで世界選手権のようでした。

日本のシニア選手が大活躍！！

こんな状況の中、頑張って参戦された日本選手たちをご紹介します。今年はシニア選手の活躍が目立ちました。

WDSF SENIOR IV STANDARD

今井正幸&由香組 優勝！

岡田明義&祐子組 5位

今井由香さんは今回でやっとSENIOR IVの年齢になりましたのでSENIOR IV初参戦にして、見事優勝！日の丸にドイツでの“君が代”は、正に感動のシーンでした。

この日の夜は、副賞のシャンパンでお祝い！

今井さん、大変お疲れのところ御馳走さまでした！



今井組と岡田組、やったぜ！
優勝と5位



今井組 優勝

WDSF SENIOR I STANDARD

村瀬賢一&小笹詩織組 33位

WDSF SENIOR I LATIN

押川慧悟&和田知世組 3位



村瀬賢一&小笹詩織組 決勝 7位

WDSF SENIOR III LATIN

武田澄人&歩組 決勝 7位

◀右後は審判員を務める山田淳
JDSF専務理事



武田澄人&歩組



シニアI 表彰式 押川組3位 村瀬・小笹組7位



村瀬賢一&小笹詩織組

日本選手の主な結果

《PD部門》

WDSF PD Open Master Class I Standard

見元克至・北畑香織組 4位

WDSF PD Open Master Class II Standard

壺内康文・美和組 3位

WDSF PD Grand Prix Standard

オレクシー グザー・太田史圭子組 14位

《Grand Slam》

WDSF Grand Slam Standard

大西大晶・咲葉組 53位

WDSF Grand Slam Latin

五月女光政・観佳組 71位

《Under 21》

WDSF Open Standard Under21

五月女光政・観佳組 17位

《Junior》

Junior部門では唯一、小林才時&前田佳音組が3競技に参戦しました。

WDSF Junior II Standard

小林才時・前田佳音組 69位

《GOC Adult Rising Star》

GOC Adult Rising Star Standard

TUDOR ANDREI・吉川あみ組 16位



TUDOR ANDREI・吉川あみ組



大西大晶・咲葉組



五月女光政・観佳組



小林才時・前田佳音組

イタリアで活躍中の菅原一樹&LAURA COLLAVIZZA組の踊りを楽しみにしていましたが、出場しなかったのは残念でした。

PDグランプリ、グランドスラムの結果

①WDSF PD Grand Prix Standard

前回、優勝のDMITRY組(ロシア)は、残念ながら出場ならず、前回「Grand Slam Standard」5位だったリトアニアのVAIDOTAS組がプロに転向して優勝。他にもプロに転向した選手がファナルに入るなど全体的なレベルアップを感じ、新しい時代に入ったと思いました。

②WDSF PD Grand Prix Latin

前回、優勝のGABRIELE組はエントリーをしていましたが欠場にて残念!

③WDSF Grand Slam Standard

Evaldas Sodeika Ieva Zukauskaite
優勝!



グランドスラムSt 表彰式



グランドスラムSt 優勝
ソディカ組

今回もリトアニアのSODEIKA組とイタリアのGALUPPO組の対決に注目が集まりました。華麗な踊りのGALUPPOと玄人好みのする厚みのある踊りで会場の空気を全部自分のものにしてしまうSODEIKA。まったく踊りの質の違うこの戦いの軍配は今年もまたSODEIKAにあがりました。



グランドスラムStの結果にご満悦のミルコ・ゴッゾーリ

④WDSF Grand Slam Latin

本大会のプログラム表紙写真にもなっているドイツのMARIUS-ANDREI BALAN組の堂々たる優勝でした。

審判員

今回の審査員は総勢66名。3つの競技会場



グランドスラムLa 表彰式

で多くの競技が同時進行されます。アジアからの審判員は3名。日本からはJDSF専務理事の山田淳氏が務めました。審査中はお立場上、マスクをはずしていませんでした。かなりお疲れになられたのではとお察しいたします。お疲れ様でした。



左から2人目山田審判員

感動のラストシーン

メイン会場であるベトーヴェンホールで最後の競技の「WDSF Grand Slam Latin」の表彰式終了後、オーガナイザーの名司会者Mr.Harry Körnerさんの声が流れる中、会場は暗くなり、やがてペンライトの代わりにみんなのスマートフォンのライトを掲げて感動のラストシーンとなりました。やがて、Harryさんの“See you next year”の声とともに閉幕となりました。また来年が楽しみです!

ジャーマンオープン シニアIV優勝!

今井正幸・今井由香組

今井正幸・今井由香組は、共に日本大学競技ダンス部の先輩後輩として活躍、ご主人は1975年(昭和50年)東部日本戦秋期大会では当時のラテン競技のルンバ、チャチャチャ2種目共に優勝、冬の全日本戦ではルンバ優勝。卒業後もラテンA級選手として活躍。そして由香さんとの出会い!二人で練習に明け暮れ2年で4回目のA級昇級(モダン:現スタンダード)を果たしてご結婚。3人の男の子に恵まれ、由香夫人は妻、母、パートナーとして献身的に支え続け、ご主人は大手避難器具メーカーのオリロー(株)社長に就任。中高年の星として国内外のコンペでも大活躍。遂に、今年8月、3年ぶりに開催された世界最大級の競技会WDSFジャーマンオープンシニアIVスタンダードにて、日本選手初の優勝に輝きました。

(JDSF広報部相談役 神宮周二)



喜びの今井ご夫妻
表彰状と副賞のシャンパン

Q: ジャーマンオープン優勝おめでとうございます!

今井: 大変嬉しく思っております。岡田組も第5位です。表彰式では国歌の「君が代」が流れ、とても感激しました。

Q: お二人とも学連出身ですが、学連時代の思い出は?

正幸: 4年生の冬全日本戦は旧国技館の日大両国講堂、そして音楽は有名バンドの生演奏。その素晴らしい演奏で優勝できたことが大学時代の大切な思い出です。
(昭和28年12月19日生れ 昭和51年日本大学卒)



全日本学生競技ダンス選手権優勝

由香: 水泳と日本舞踊を続けていましたが、大学では新しいことに挑戦したいと思い、部活のオリエンで舞踏研究会を見た友人に誘われて軽い気持ちで入部しました。友人は退部しましたが、私はどんどん楽しくなりました。

リーダー校は日大。合同練習では厳しい練習、ベーシックの踊りこみ等で鍛えられました。今でもダンスを楽しむことができるのが嬉しく、大学時代に沢山ある部活の中で舞踏研究会を選んだ自分を褒めてやりたい! 9歳違いの共に日大舞研の先輩・後輩です。
(昭和37年10月2日生れ 昭和58年跡見学園短期大学卒)



日本舞踊「藤娘」を舞う由香さん

Q: JDSFの広報誌DDDの創刊は1996年10月。「ダンスの鉄人」シリーズに、ロチャース太田実社長ご夫妻、人見康子全日本学連名誉会長(慶應義塾大学教授)に続き、なんと三番目の鉄人として紹介されていますが、覚えていらっしゃいますか?

今井: 勿論! DDD 3号は今でも大切に保管してあります。ダンスの鉄人と言って頂いた



DDD第3号(1997年春号)9ページ

ことは大変光栄でした。当時、練習場や競技会に息子達を連れていきました。彼らが競技会で応援してくれたことも家族の良い思い出です。健康のためでもありますので、今でも「ダンスは続けた方がいいよ!」と応援してくれています。

Q: そのページの下には1996年制作の大ヒット映画『Shall we ダンス?』の掲載もありますが、思い出はありますか?

今井: この映画の公開により多くの方がダンスを始め、とても嬉しく思いました。『Shall we ダンス?』がそれまでの社交ダンスのイメージを変えたと思います。社交ダンスが趣味という、何かと説明しなければなりませんでしたが、この映画のヒットにより社交ダンスが普及し、良い印象へと変わりました。何よりもダンスは楽しいということ伝えてくれたと思います。また映画の中での競技会の場面では、私達のダンスの友人仲間が多く映っているので、何回観ても、今でも楽しめる映画だと思います。

Q: 息子さん3人のご家族でしたね?

由香: 後楽園ホールでの学連東部戦に先輩として応援に来た正幸からアドバイスを受けました。それはスローフォックストロット。大好きなスローをそのとき少しだけですが踊ったことが今に繋がるのは、まさに奇跡の瞬間だったと思います。その後アマチュアで競技をするお誘いを受け、2年後に結婚となりました。

Q: スタンダードA級昇級した頃の思い出があれば?

今井: 1985年、C級戦、B級戦共に前期後期決勝に入り、翌年2階級特進でA級になりました。当時は毎週日曜日にアマチュア選手ファイナリストの方達との練習会に参加していました。



現在の今井家全員集合写真です。
2歳の孫娘もいます

その方たちと一緒に練習ができたことは素晴らしい経験でした。場所は須田町メトロのダンス教室でした。

Q：昨年12月、大阪市の北新地ビルのクリニックの放火殺人事件で27名が亡くなる大惨事がありました。そのときのテレビ報道番組で、避難器具大手メーカー社長としてご出演し、解説をされていましたが。

今井：TBSテレビ系の報道番組「news23」でも取材を受けました。オリロー（株）の避難器具について話をしました。事件後は10倍くらい問合せが増えましたね。



TBSテレビ系の報道番組「news23」に出演する今井社長。右は山本恵里伽アナ

Q：強く思い出に残っている競技会を教えてください。

今井：1985年の第5回三笠宮杯でライジングスターモダンの部（出場組数113組）に出場し、優勝できたことを鮮明に覚えています。ライジングスターですが、後楽園ホールで優勝できたのが嬉しかったです。その翌年に結婚し、その後は三笠宮杯に毎年出場しています。また、三笠宮杯でミドルシニアの部が開催されるようになりました。A級戦とは別にシニアセクションが加わり、シニア選手の活躍する場が増えることに大いに期待しました。一回目から優勝させて頂きました。また、ジュニア、ジュブナイル、子どもダンスうんどうなども加わり、三笠宮杯において老若男女がダンスを踊り、応援し、そして楽しめることは素晴らしい取り組みだと思いました。

Q：今井ご夫妻のコーチを教えてください。

今井：家泉尚樹・朋美先生にご指導頂いています。私達の年齢でも可動範囲を広げることができること、無理せず身体をフルに使えること、音楽を豊かに表現することなど、より快適なダンスになるためのレッスンをして頂いています。先生方のレッスンは私達にもまだまだ可能性があると確信させてくれます。まさに希望のレッスンです。何よりレッスンの時間は楽しい！ 厳しくも、笑いっぱい時間です。

Q：お二人で出場した競技会の回数は？ ジャッジのご経験はありますか？

今井：大会の数は、ウーン数えきれません。ジャッジは、東部学連の東京理科大学体育館で開催された理工戦で、西谷修先輩（東海大学卒）や神宮周二先輩（慶應大学卒）と3人でジャッジしたことは、はっきりと覚えています。西谷先輩が亡くなられたのは残念でした。LACD時代にも学連OBということで何回かジャッジさせて頂いたことがあります。

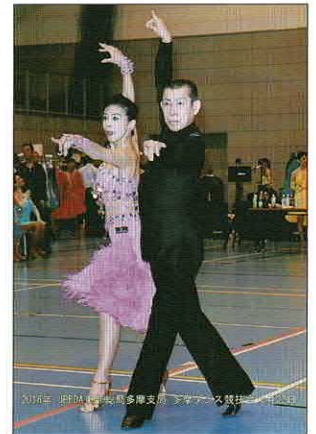
Q：今後の目標を教えてください。

今井夫妻：お互いに健康でダンスが続けられればと思います。足腰、姿勢、そして脳の活性化にはダンスが一番適していると思います。ステップを踏むだけでなく、音楽を感じどう表現したいか、相手との繋がりややり取り、しっかり自立していることなど、沢山のやりがいを感じます。共に百歳まで、年齢差があるので私は百歳！正幸は百九歳！！まで頑張りたいと思います。

Q：ダンスの素晴らしさとは何でしょう。

由香：小さい頃から水泳と日本舞踊を習っていて、身体を動かすことが大好きです。ダンスを踊るときにも相通じるものを感じます。ホールドは身体の中から広がり、空間を包んで踊る。それはまるで水の中で泳ぐときの感覚に似ています。無理な力ではなく、空間に身体を預けるのは水の中も空気中も同じ。ダンスでも手も足も身体も連動して動かし続けたい。ステップを踏むことに捕らわれてしまいがちですが、踊ることはもっと快適にもっと自由にもっと素敵にできるのではないかと、思います。日舞でも三味線や地唄に呼吸を合わせる。音楽は異なれど同じ感覚だと思えます。

正幸：脊椎管狭窄症の激しい痛みを経験しましたが、手術をせずに乗り切ることができたことは奇跡です。そして、私は膝の手術を経験しました。お互いにダンスが踊れない時期を思いすと、今ダンスが踊れるということが何よりも素晴らしいことだと思えます。ダンスの友人、そして競技会でも沢山の方が声をかけてくださいます。皆さま方に心から感謝しております。ダンスで広がった幸せを大切にして、これからも挑戦し続けようと思えます。その関係で、大学の講師も務めさせていただきました。私たちの良い思い出です。



ラテン競技に出場の今井ご夫妻

武庫川女子大学生活美学研究所の2016年の研究テーマ「遊」の第1回クリエイティブサロンに講師として招かれました。研究所が入っている、国の近代化産業遺産及び登録有形文化財に登録されている甲子園会館（旧甲子園ホテル）内の素晴らしい舞踏会場でした。大変光栄に思います。



ダンススポーツグランプリin仙台2022



9月11日(日) / 仙台市青葉体育館

自然豊かな「杜の都仙台」において3年ぶりの開催となりました。秋空の下、日本最大級の仙台ストリートジャズフェスティバルも3年ぶりに開催され、コロナの影響で規模縮小のなか、街にはあらゆるジャンルのジャズが流れ20万人の観客が溢れました。ダンススポーツグランプリin仙台は、グランプリを待ちわびた千人以上の観客、さらに郡(こおり)和子仙台市長もご来場され決勝まで楽しめました。グランプリはまたしても小嶋組と大西組の対決、コーチの山本組(PD)、大西組、そしてTudor Andrei・吉川あみ組、お馴染みの久保田組(PD)も競技に出場と注目の選手が出揃い、館内は熱気に包まれと声援の代わりに大拍手に湧きました。TBSテレビ『金曜日スマイルたちへ』の番組担当の黒川ディレクターや、テレビ撮影クルーと共にフロアー・嵯川博信・浅田舞組が手を振って姿を見せると、一斉に大拍手が沸き起こりました。



山口剛JDSF
競技本部長

中嶋勉チェア
マン

仙台は音楽の都、音楽とダンスは兄弟!
今日もフェスティバルで
市内は音楽に溢れています。
全国からお集りの選手、観客の皆様も
是非、お楽しみ下さい!



左から佐々木啓大会実行委員長(宮城県県連盟会長)、郡和子仙台市長、渡辺ひろし市議会議員

◀ 満員の観客席



優勝

小嶋みなと・盛田めぐみ組(神奈川県)



準優勝

大西大晶・大西咲菜組(富山県)



第3位

Tudor Andrei・吉川あみ組(東京都)



第4位

五月女光政・五月女叡佳組(栃木県)



小嶋みなと・盛田めぐみ組、坂本先生(左)



第5位

守屋駿・盛田舞香組(神奈川県)



第6位

飯沼孟大・馬場えりな組(神奈川県)



優勝

山本武志・木嶋友美組(PD関東甲信越ブロック)



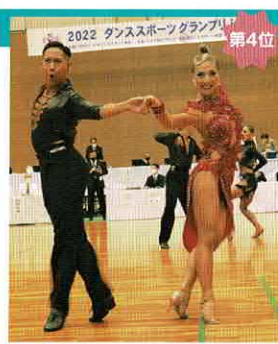
準優勝

久保田弓椰・徳野夏海組(PD北海道ブロック)



第3位

Kevin・河岡宏美組(PD関東甲信越ブロック)



第4位

高島大知・田村奈緒子組(PD西部ブロック)



第5位

新屋秀和・滝川絵理組(PD西部ブロック)



第6位

高辻博希・岡田優美組(PD西部ブロック)



山本武志・木嶋友美組

1週間前にケガをして少し不安でした。大西組はじめ若手がどんどん伸びているなかで勝つことができずホッとします。海外のコンペも、コロナや航空券の高騰、さらに会社の休暇の調整もあり、イタリアのディアプロにも参加したいのですが、国内で幼稚園時代からの坂本先生にコーチして頂いています。今日は妹の守屋駿・盛田舞香組も同じ決勝で踊って嬉しかったです!

仙台での優勝は初めてで嬉しいです。イタリア合宿にも出掛けルーツを変えたので少し不安はありましたが、今日はその成果が出たと思います。TBSテレビの「金スマ」出演も大変自分たちの勉強になります

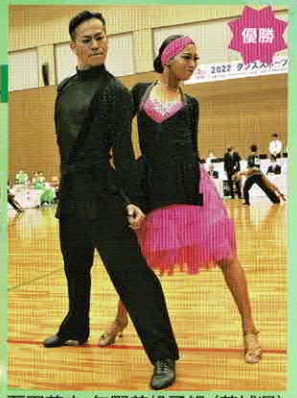
全日本選手権シニアI ラテン



村田知紀・北見奈稚組
(神奈川県)



村瀬賢一・小笹詩織組 (埼玉県)



石田茂之・矢野美帆子組 (茨城県)

ユース ラテン



今西竜矢・今西心菜組
(ブルボンDST)



山本壮真・三喜真梨菜組
(ブルボンDST)



木下将希・小西乙愛組
(ブルボンDST)

中村エドワード・
中村エリザベス永理組
(ジュニアアスリートクラブ)

ユース スタンダード



ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組
(ブルボンDST) La 3位

JDSF B級戦 スタンダード



JDSF B級戦 ラテン



JDSF C級戦 スタンダード



JDSF C級戦 ラテン



JDSF D級戦 スタンダード



JDSF D級戦 ラテン



シニアII A級戦 スタンダード



シニアII A級戦 ラテン



シニアIII A級戦 スタンダード



シニアIII B級戦 スタンダード



蜷川博信・浅田舞組 シニアI ラテン第5位

毎日毎日練習を積み重ね筋トレにも取り組み、世界選手権シニア日本代表を目指し満を持しての出場も、結果を知った舞さんは号泣！ コーチの山本ペアや大西ペアから「結果は順位だけではない。ダンスはすごく良くなった。継続が大事！ 涙でなくダンスをもっと楽しんで観客を魅了してほしい」と励まされ、蜷川選手は「すごく頑張った！ 急成長したのを感じる」とコメント。舞選手は笑顔で「心強い！ ありがとうございます。34歳にして初めて、自分は仕事を乗り越えて感情もコントロールできると思っていたけれど…、こんな思いは今までになかった。毎日練習に明け暮れ、コーチの方々や金スマテレビチームの方々も大変良くしてくれて、技術的な進歩を追い求めているだけでなく凄く精神的に成長できた。今までになかったことで、これがダンススポーツなんだと実感。仙台の観客の皆さまの温かい声援に感動しました」と話してくれました。



フロアサイドで見守る山本英美先生と治面地良和JDSF強化選手コーチ



蜷川博信・浅田舞組、山本武志ご夫妻、と役員

来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン

KEEP EVERYTHING
MORE BEAUTIFUL
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



公益財団法人 日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee

ダンス・ダンス・ダンス

第105号 (Autumn)

令和4年11月発行

■ 発行人 / 山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)

■ 編集人 / 神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)

■ 編集長 / 佐藤肇之 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)

■ 企画 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部

■ 発行所 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857

<http://www.jdsf.or.jp>

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。